



夜明 広報

第49号

令和3年1月1日
(発行)
日田市夜明公民館
夜明中町 1547
tel27-2122 fax26-6878



祝！ 入魂式

あけまして おめでとうございます

本年が皆さまにとって良い年になりますよう
心からお祈り申し上げます

夜明振興協議会 夜明公民館運営委員会
日田市夜明公民館 日田市夜明振興センター

2面にご挨拶を掲載しております。ご覧ください。



お正月を彩ってくれる飾りをご紹介します。夜明桜守の会の皆さまがJR夜明駅、そして公民館に門松を飾ってくださいました。毎年ありがとうございます。おかげさまで今年のお正月も、華やかに迎えることができました。

新年のごあいさつ

夜明公民館運営委員会 会長 川述 敏文

新年明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話様になりました。皆様方には、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は『コロナの年』ともいうべき一年でございました。現在でも、世界中・人類は、とても大きく大きな試練に遭遇していると思います。

また、毎年のように自然災害が発生し、日田市でも三隈川・玖珠川沿いで多大な被害が出ました。未だ、復旧も済んでいないところもあるようで、防災・減災意識の大切さを痛感致しました。新年こそ、『新型コロナウイルスの感染』が収束し、自然災害もなく安心して暮らせる年になることを強く願ひいたします。

さて、公民館活動につきましても、コロナ禍で十分満足できる活動はできませんでしたが、夜明地域の諸団体のご支援とご協力により、感染拡大防止に留意しながら、各種の講座や事業に取り組むことができました。

私も、いくつかの講座に参加したり、自主活動『大明かるた会』の指導活動をしたりすることができました。その活動の中で、地域の方々とつながること、自分なりの学びを進めること、地域の文化度を少しでも高めるために自分が、どう関わればよいかについて考えることができました。

本年も公民館が、地域の皆様方の交流センターとして、より多くの皆様がお気軽に集うことができ、ホッとする場になったり、情報交換のできたりする場となれるように取り組んで参りたいと思います。どうぞ皆様方のお知恵となお一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、夜明地域の皆様のご健康とご活躍を心より祈念いたしまして、新年のご挨拶と致します。

夜明振興協議会 会長 森山 由行

夜明振興協議会会員の皆様、ご家族の皆様、明けましておめでとうございます。

昨年は穏やかな年明けもつかの間、未知のウイルス感染症で生活環境も一変し、不安一色の年となりました。こんなに猛威を振るうとは思ひもしない一年、第36回夜明ふるさと祭りをはじめ地区の行事、祭り等々も中止や延期、縮小をせざるを得なくなり、日常がかわり戸惑うことの多い年でした。一日も早い終息、素顔の生活に戻れることをただただ願うばかりです。

丑年は我慢、そして発展の前ぶれを表す年になると言われています。地道に突き進むことで新たな発展への夜明へ繋がりたいものです。

さて、昨年は約80年の思い出のある日田彦山線も様々なご意見の中で、新たな公共交通のBRTへの準備に入っているところです。我が町夜明の将来に向け、皆様とともに取り組んでいきたいと思っています。また、平成30年2月の大肥川災害復旧工事の最終全体説明会から2年10ヶ月、ほぼ、全容が見える状態となり、次の豪雨に耐え、安心される大肥川沿線となることを望むところです。

その様な中、日田市消防団夜明分団の前の消防自動車約20年の役目を終え、新車両が納車され、12月20日に規模縮小の中に入魂式が挙行されました。非常時出動機会の無いことを祈りつつ、地域の安全を守る夜明分団員の皆様に敬意を表しますとともに活躍を願うの式典でした。

地域活動は地域の皆様が健康でお過ごしいただいていることが大前提となります。お体をご自愛くださいますようお願い申し上げますと共に、皆様のご多幸をお祈り申し上げます。本年も引き続きよろしくお願いいたします。

お花で迎える明るい年

・成人セミナー寄せ植え教室

12月4日、講師にりんご苑の苑田文子さんをお迎えし、「寄せ植え教室」を開催しました。

お正月を華やかな寄せ植えで迎えていただこうと計画したもので、「明るい年になりますように」をテーマに、講師に準備いただいたエレモフィラ、ガーデンシクラメン、パンジーなどの花々をバスケット型のプランターに植え、モスや松ぼっくりをアクセントにして仕上げました。

同じ種類のお花とプランターを使用しても、ひとつひとつ違う表情の仕上がりとなり、見る目を楽しませてくれました。



・成人セミナーフラワーアレンジ教室

12月23日、講師に後藤尚美さんをお迎えし、「フラワーアレンジメント教室」を開催しました。

まず、各自が持参したお気に入りの花器に、オアシスを入れ中央に松を配置します。続いて、花の引き立つ向きを考えながらオンシジューム、カーネーション、ルスカスなどを周囲に飾り付けました。また、なんてんや風の形の飾り物を使って装飾することで、お正月らしさを演出していました。

講師も絶賛する仕上がりのアレンジで、華やかなお正月をお迎えください。



伝統の発酵食品

12月12日、大鶴公民館と合同で行う青少年事業「大明チャレンジ教室」では、日本伝統の発酵食品であるみその作り方や、身近で栽培されている大豆が利用される様子を学ぼうとももは工房の森山さんにご指導いただき、みそづくり教室を開催しました。

ももは工房さんの加工場で前日から蒸していただいた大豆を、子どもたちが手やマッシャーで磨り潰していきます。力が必要な作業ですのでグループで交代しながら行いました。大豆を磨り潰すと、合わせ麹（米や小麦に麹菌を入れて発酵させたもの）と塩を加え均一になるように混ぜ合わせ、空気の入らないように樽詰めしました。

これから樽の中での熟成を、チャレンジ教室メンバーで見守ることになります。

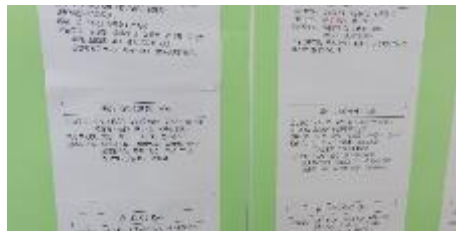


夜明地区の名字展

現在、公民館の集会室で夜明史談会による成果発表、「夜明の名字」を展示しています。

この展示は、夜明史談会が毎年夜明ふるさと祭りに合わせて行ってきた展示発表を、ふるさと祭りが中止となった今年も継続しようと計画されたものです。

今年は、「ふるさとの歴史学習会」の中で取り上げられた「夜明の名字」が展示されています。夜明地区の方々の名字の中から多いものを取り上げ、全国順位や大分県・福岡県でのおおよその人数、日田市での人数などが記載されています。また起源の解るものは、その由来にも触れています。



地域情報

12月20日、夜明交流センター（夜明公民館）グラウンドにおいて、夜明分団の新たな消防ポンプ自動車の入魂式が行われました。【1面に写真】

原田啓介日田市長、石橋邦彦日田市議会議長をはじめ多くのご来賓に列席いただく中、目録が贈呈され、車両が正式に夜明分団へ配備されました。また神事では、大原八幡宮の橋本国房宮司による祝詞の奏上の後、車両の前後は切幣が撒かれ祓い清められ、関係者により玉串が奉奠されました。

また式典閉会後には、息の合った放水点検が披露され、来場者からは大きな拍手が贈られていました。



夜明振興協議会からご厚志の御礼

【夜明上町】 森山 加代美 様 （亡夫 達朗 様）

【夜明上町】 森山 耕一郎 様 （亡父 節義 様）

香典返しとして、振興協議会に金一封をいただきました。厚く御礼申し上げます。

夜 明 の 人 口 ・ 世 帯 数				令和2年11月30日
町名	男	女	計	世帯数
上 町	159 人	147 人	306 人	145 世帯
中 町	119 人	173 人	292 人	118 世帯
関 町	109 人	118 人	227 人	88 世帯
合計	387 人	438 人	825 人	351 世帯